

【USB】計測器との通信がうまくできない時のチェックシート

計測器がリモート状態にならない時

No.	確認内容	確認結果
1	HIOKI製のUSBドライバが正しくインストールされているか確認してください。 「プログラムのアンインストールまたは変更」の一覧に以下の項目があるか確認してください。 	
2	COMポート番号を確認してください。 Windowsではデバイスマネージャーで確認可能です。	
3	USBハブを使用している場合 USBハブを外して直接ケーブル接続して確認してください。	
4	[スタートメニュー]→[設定]→[更新とセキュリティ]→[Windowsセキュリティ]→[デバイスセキュリティ]→[コア分離]→[コア分離の詳細] のメモリ整合性 の設定をオフに変更してみてください。 (Windows10以降)	

通信設定の確認

No.	確認内容	確認結果
4	ターミネータはパソコンと計測器で同じ設定になっていますか？（「CR」または「CR+LF」）	

通信確認

No.	確認内容	確認結果
5	付属CDのサンプルアプリで計測器と通信できるか確認してください。	
6	「Teraterm」等のターミナルソフトで計測器と通信できるか確認してください。	
7	通信ソフトを自作される場合は、付属CDのサンプルプログラム(Visual Basic)を参考にしてください。 (単純な1回測定、コマンド送受信の基本、オープン・ショート補正の終了を待つサンプル等)	

こんな時は？

No.	確認内容	確認結果
8	計測器本体から「ピッ！」と音がする場合、コマンドエラーまたは実行エラーが発生していますので、以下を確認してください。 ・コマンドの綴り ・コマンドを1つずつ送り、どこでエラーが発生しているか確認 ・通信スピードやデータビット	
9	クエリコマンドで、同じ値が2つ返ってくる場合、計測器本体の不具合なので、最新のソフトにバージョンアップしてください。	

それでも解決できない

No.	確認内容	確認結果
10	パソコン、計測器本体を再起動してみてください。 ドライバ等をインストールした後など改善される場合があります。 その他、セキュリティ環境が影響している場合がございますのでご確認をお願い致します。	